

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	里山づくり支援事業	事業期間	平成 16 ~ 年度	整理番号	02040103
担当部署	市民環境部	生活環境課	環境保全係	作成担当者名	笠原直弘
				連絡先	266

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 02 第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす		
			施策 03 第3節 豊かな自然を守る			
			細施策 01 里山・里地の保全と活用			
			事務事業	—		
	予算事業名	里山づくり支援事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 06 事業 04		
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	里山づくり推進地域の指定を拡大し、地域での里山づくりを推進する。 市民の森を公民協働で里山づくりを推進する。 また、学校や家庭で気軽に参加できる「茅野市自然環境調査実行計画」に基づいて、身近な動物・植物を中心とした市民参加型の調査（自然環境調査）を継続的に行う。				
	現状と背景 （どうして）	近年、里山は人のかかわりが減り、手入れがされなくなり荒れてしまった場所が多く、公共事業や宅地開発などにより減少しているため、身近な自然環境である里山を保護、保全、再生及び活用し、里山を将来の世代に残していくことが必要である。				
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （直接働きかける）	受益者 市民 対象 市民・森林所有者 意図 (里山) 身近な里山を保全するために、推進団体の発足や推進地域の指定をする。市民の森を多くの市民が里山づくりに取り組むことができる森林保全のモデル地域とする。 (自然環境調査) 身近な環境に関心を持ってもらい、自然の大切さを学んでもらう。 (里山) 地域での里山づくりに取り組むための団体（以下「団体」とします。）の立ち上げ、里山づくりを推進するための計画づくりを支援するとともに、指定後は、指定地域での里山づくりがスムーズに進むよう必要な支援を行う。 (自然環境調査) 校長教頭会での協力要請と広報ちのによる公募を行う。			
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		団体の発足	団体の発足	団体	発足した団体の合計	3
		里山づくり推進地域の指定	地域指定面積	ha	里山づくり推進地域の指定面積の合計	300
	成果指標	市民の森を創る会会議開催	会議開催	回	会議を開催した回数	
		成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		推進地域の森林整備	森林整備率	%	推進地域の森林整備/推進地域指定面積	100
	市民の森行事参加者	年間参加者	人	植樹、遊歩道整備、イベント等の年間参加人数		

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）		
事業費等 (a)	円	630,000	4,992,445	6,256,965	5,617,205	6,087,000		
財源内訳								
国庫支出金	円							
県支出金	円							
その他特定財源	円		71,664	69,952	65,205	150,000		
一般財源	円	630,000	4,920,781	6,187,013	5,552,000	5,937,000		
職員数	人	0.30	1.00	1.00	1.00	1.00		
正規職員	人							
嘱託職員	人							
臨時職員	人							
合計	人	0.30	1.00	1.00	1.00	1.00		
対象（者）数								
延利用（者）数 (b)								
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—		
受益者負担額	円							
市民一人当たりのコスト	円	11.00	89.00	112.00	101.00	246.00		
D O （ ）	活動指標	団体の発足	目標 3	実績 3	達成率 100.00%	目標 3	実績 3	達成率 100.00%
		地域指定面積	目標 ha 300	実績 ha 75	達成率 25.00%	目標 ha 300	実績 ha 75	達成率 25.00%
	成果指標	会議開催	目標 回 12	実績 回 13	達成率 108.33%	目標 回 12	実績 回 13	達成率 108.33%
		森林整備率	目標 % 100	実績 % 69	達成率 69.00%	目標 % 100	実績 % 69	達成率 69.00%
	活動指標	年間参加者	目標 人 300	実績 人 325	達成率 108.33%	目標 人 300	実績 人 274	達成率 91.33%
			目標 人 300	実績 人 239	達成率 79.67%	目標 人 300	実績 人 240	達成率 80.00%
備考	H27～「里山づくり推進地域支援事業（02040122）」、「市民環境団体活動支援事業（02040129）」を統合							

事務事業名	里山づくり支援事業	事業期間	平成 16 ~	年度	整理番号	02040103
担当部署	市民環境部	生活環境課	環境保全係	作成担当者名	笠原直弘	連絡先
						266

期	目 標	実 績	課 題
第1期	(市民の森)森開きの開催、市民の森整備作業の実施、幹事会の開催 (永明寺山)春のイベントの開催、学校体験学習の支援、幹事会の開催	(市民の森)4/24森開き(参加者100名)、4/18水車小屋修繕作業 (永明寺山)4/24春のイベント、6/27永明小菌打ち体験	なし
第2期	(市民の森)市民の森整備作業の実施、学校体験学習の支援、幹事会の開催 (永明寺山)ふれあいの森整備作業の実施、学校体験学習の支援、幹事会の開催	(市民の森)7/14茅野高校森林整備体験学習、7/28市民の森整備作業、8/21、30横河口四阿整備作業 (永明寺山)7/2ふれあいの森整備作業、7/7永明中森林整備体験学習	なし
第3期	(市民の森)育林祭の開催、幹事会の開催 (永明寺山)秋のイベントの実施、幹事会の開催	(市民の森)10/2観察会、10/30育林祭 (永明寺山)10/23秋のイベント、10/28永明中森林整備体験学習	なし
第4期	(市民の森)全体会、講演会、幹事会の開催、来年度の事業計画 (永明寺山)総会、講演会、幹事会の開催、来年度の事業計画	(市民の森)2/28全体会、講演会 (永明寺山)3/12総会、講演会	なし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 市民の森へのアクセス道路について、集中豪雨などの影響で砂利道の路面がえぐれる事案が増えている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 水切り設置工事の実施	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 年 度	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A

課題	推進地域について地権者の理解が得られなければ拡大が難しい。	記号の定義 A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定	A	
前年度評価シート整理番号	02040113	

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
永明寺山の里山づくり推進地域においては、計画的に森林整備が進められ、活動が順調である。 市民の森については、例年並みに事業を実施することができた。イベントの参加人数については例年より少なかったが、イベントにおいて新しい試み等も実施しているので、今後も活動を継続していきたい。	永明寺山の里山づくり推進地域においては、計画的に森林整備が進められ、活動が順調である。 市民の森については、例年並みに事業を実施することができた。イベントの参加人数については例年より少なかったが、イベントにおいて新しい試み等も実施しているので、今後も活動を継続していきたい。	永明寺山の里山づくり推進地域においては、計画的に森林整備が進められ、活動が順調である。 市民の森については、例年並みに事業を実施することができた。イベントの参加人数については例年より少なかったが、イベントにおいて新しい試み等も実施しているので、今後も活動を継続していきたい。
前年度改革・改善策の実施状況		前年度細施策評価における今後の方向性

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充 ② ⑤ ⑦ 現 状 維 持 ③ ⑥ ⑨ 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 休 廃 止 ①	成 果 の 方 向 性 拡 充 現 状 維 持 縮 小 休 廃 止
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

改革・改善策	地権者の理解が得られるような効果も考えていきたい。	地権者の理解が得られるような効果も考えていきたい。 なお市民の森の土地賃貸借契約がH29年度末で満期を迎えるため、その契約更新にもあたっていく。
--------	---------------------------	---

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生活環境課長	後 藤 浩 行
---------	------------	---------	--------	---------

平成28年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	生物多様性の確保事業	事業期間	平成 H26 ~ 年度	整理番号	02040110
担当部署	市民環境部	生活環境課	環境保全係	作成担当者名	笠原直弘
				連絡先	266

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	02	第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす
				施策	03	第3節 豊かな自然を守る
				細施策	03	生物多様性の確保
				事務事業		—
	予算事業名			会計コード	001	款 04 項 01 目 06 事業 08
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	特定外来植物、特にオオハongoンソウは、近年広範囲に繁茂してきており駆除する必要がある。市民周知の徹底をはかり繁茂拡大を食い止める。				
	現状と背景 （どうして）	茅野市では、特定外来植物に指定されているオオキンケイギク、オオハongoンソウ、アレチウリの生息が多く確認されている。これらの外来生物は、茅野市の自然環境に影響を与えたり、農作物に被害を与えたりするため駆除が必要。				
	目的	受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	市民に周知			
	手段・方法 （どうやって）	ホームページ、広報ちの、学校や公共施設などへの周知ポスター掲示。特定外来植物の勉強会の開催。環境美化に関するイベント時に、ボランティアを募っての啓発を兼ねた除去作業を行う。				
N （ ）	活動指標	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		外来植物の生態勉強会	外来植物の生態勉強会開催数	回	毎年1回以上の開催	1(*)
		行政区への特定外来生物のパンフレット配布数	行政区、全戸及び公共施設配布枚数	枚	配布数	18000(*)
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
					(*)	
					(*)	

項 目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度（予算 又は決算額）	平成29年度 事業計画（予算）
事業費等 (a)	円			77,760	122,256	119,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円					
一般財源	円			77,760	122,256	119,000
職員数	人		0.50	0.50	0.50	0.50
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人		0.50	0.50	0.50	0.50
対象（者）数						
延利用（者）数 (b)						
単位コスト (a)/(b)	円	—	—	—	—	—
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	—	—	1.00	2.00	70.00
活動指標	外来植物の生態勉強会開催数	目標	回	2	1	1
		実績	回	2	1	0
	達成率	%	—	100.00	100.00	0.00
	行政区、全戸及び公共施設配布枚数	目標	枚		18,000	18,000
実績		枚		18,000	18,000	18,000
達成率	%	—	—	100.00	100.00	100.00
成果指標	—	目標	—			
		実績	—			
	達成率	%	—	—	—	—
	—	目標	—			
実績		—				
達成率	%	—	—	—	—	
備考	(*) 目標値を年度ごと定めるため、目標値は設定しない。					

事務事業名	生物多様性の確保事業	事業期間	平成 H26 ~	年度	整理番号	02040110
担当部署	市民環境部	生活環境課	環境保全係	作成担当者名	笠原直弘	連絡先
						266

期	目 標	実 績	課 題
第1期	駆除啓発活動 駆除活動 現状把握パトロール	駆除啓発チラシ全戸配布、ポスター掲示依頼、区長会依頼 5/28、6/8駆除活動、市内パトロール(随時)	なし
第2期	駆除啓発活動 駆除活動 現状把握パトロール	7/2、7/13、7/21、7/28駆除活動 市内パトロール(随時)	なし
第3期	外来生物生息図の製作	外来生物(植物)の生息図の製作	なし
第4期	次年度の計画作成及び準備	年間スケジュールで防除計画を作成	なし

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 特定外来生物の生息範囲が広がってきている。 生物多様性地域戦略の策定について検討。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	①
	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4			レ		3					4	B
課題	市内の繁茂状況の他、地域や市民団体等で実施した駆除活動など、市内における駆除実績を把握することが必要。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定	B															
前年度評価シート整理番号	02050105															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	前年度改革・改善策の実施状況	ポスター、チラシを配布したことにより、特定外来生物の認識が増え、繁茂状況の情報提供が寄せられることが増えた。					ポスター、チラシを配布したことにより、特定外来生物の認識が増え、繁茂状況の情報提供が寄せられることが増えた。			
前年度細施策評価における今後の方向性										

改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 (ACTION)	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後					
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性 拡 充		②	⑤	⑦	レ	成 果 の 方 向 性 拡 充			
	現 状 維 持		③	⑥	⑨		現 状 維 持				
	縮 小		④	⑧	⑩		縮 小				
	休 廃 止	①					休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性					皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	特定外来生物を地域の課題として捉えてもらい、駆除活動が行われるような工夫を検討していきたい。					特定外来生物を地域の課題として捉えてもらい、駆除活動が行われるような工夫を検討していきたい。					

最終評価年月日	平成29年5月19日	最終評価責任者	生活環境課長	後 藤 浩 行
---------	------------	---------	--------	---------